

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島県 】

1 実践テーマ	【 IV、V 】
2 実施対象者	郡山市立安積第三小学校 全学年・全校児童 395人 1年（51）2年（75）3年（69）4年（65）5年（67）6年（68）
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ 体育 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 （ねらい）	スポーツに対する興味・関心を高め、スポーツや運動に進んで親しもうとする児童を育てる。
5 取組内容	○パラリンピック教育（I'm possible）の実践(全学年) <div style="text-align: center;">  <p>1年 「ガイドランナーになろう」</p>  </div>

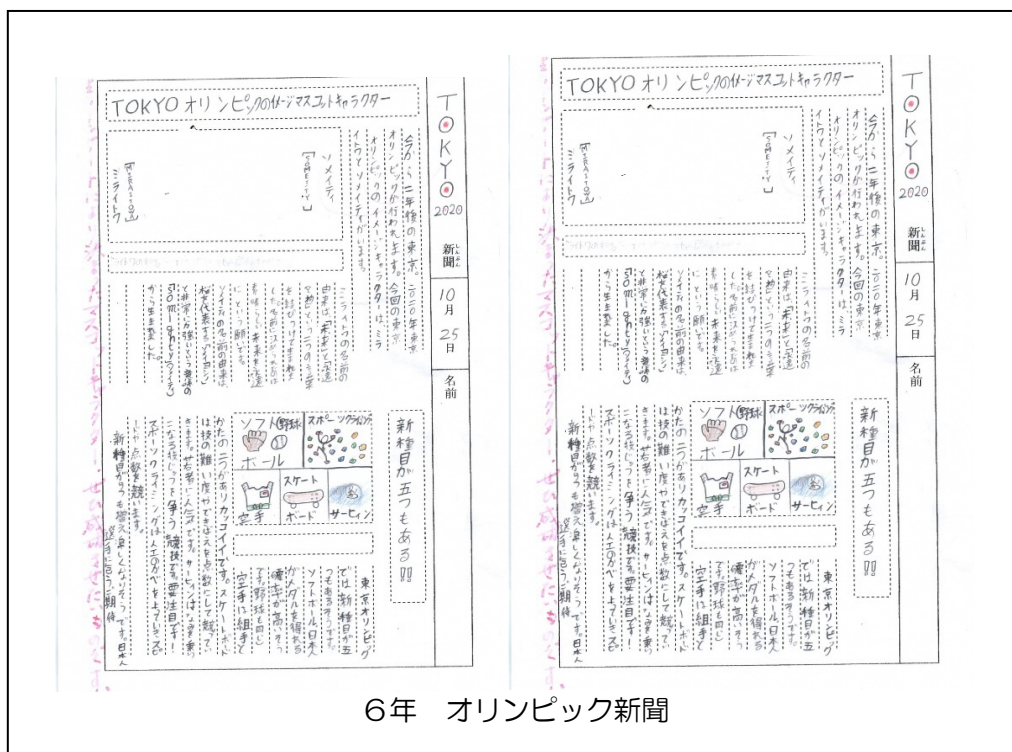
「わたしは目かくしで、いすまでむかうところがたのしかったです。校長先生が見せてくれたパソコンを見たら、パラリンピックに出ている人たちは目かくしで走っていたところがすごかったです。わたしもオリンピックにいつかは出たいです。」(2年女子)

「ぼくはガイドランナーがすごいなあと思いました。ガイドをしている人は、ちゃんとしじをして、ガイドされている人はちゃんとしじを聞いてうごいているんだなあと思いました。」(2年男子)

「ぼくがはじめてしたこと、ガイドランナーがいるということです。校長先生のパソコンでガイドランナーをパラリンピックでしていたなんてはじめてしました。ぼくもオリンピックに出たいです。」(2年男子)

○オリンピック・パラリンピックをテーマにして調べ学習

・「オリ・パラについて調べよう」6学年で実施(まとめ:新聞づくり)



6年 オリンピック新聞

- ・オリンピックの歴史や種目の変遷、2020年東京大会の新種目や福島県での開催種目について、事前の調べ学習をもとにそれらを創作劇としてまとめ、保護者・地域に向け発表(学習発表会)



6年 学習発表会 創作劇「Go to the 五輪」

○オリンピックから直接話を聞いたり、オリンピックの様子を映像等で見たりする交流活動を通して運動・スポーツの楽しさを体験

オリンピックから学ぶチームワークの大切さ

～「全力で取り組み、夢や目標をもって最後までがんばろう」

・日時 平成30年11月5日（月）
1・2年（2校時）3・4年（3校時）5・6年（4校時）
交流給食会（6年）

・対象 全校生

・講師 デンソーエアリービーズGM 山口祐之氏
（元全日本女子バレーボールコーチ）

・内容

- ① やってみよう「フラフープダウン」
- ② ロンドンオリンピック～28年ぶりのメダル獲得へ～
- ③ 新Vリーグの紹介
デンソーエアリービーズのこれから
- ④ 交流（質問、感想発表とお礼、ハイタッチ）



フラフープダウン



ハイタッチ



給食交流会（6年）

実際に体を動かしながらチームで協力することの難しさや大切さを学んだ。

山口先生がサーブやスパイクなども披露、子どもたちはトップ選手の技術の巧みさやスピード正確さなどを近くで感じる事ができた。

学習のまとめとして、全日本女子バレーボールチームが2012年のロンドン五輪において銅メダルを獲得したときの様子をVTRで視聴し、講師の山口先生自身が日本代表として臨んだ試合までの体験談を分かりやすくお話していただいた。

講話をいただいたのちに6年児童と一緒に給食を召し上がっていただいた。

○学習発表会でのあらましを学校のWebページにて地域に向け発信



プログラム7番
6年生の発表は、劇「Go to the 五輪」歌やダンスも行いました。

【写真掲載】 2018-11-06 16:41 upl

<p>6 主な成果</p>	<p>○6年児童においてはオリンピックの歴史や活躍した人物、本県での開催種目等を知り、知識・理解とともに興味・関心が高まった。</p> <p>○低学年児童においてはオリンピックへのあこがれを持たせることやパラリンピックへの理解を深めることができた。</p> <p>○直接話を聞いたり、一緒に運動や交流活動をしたりとふれあいを通して、オリンピックだけでなく運動選手やスポーツ選手へのあこがれを持つことができた。</p> <p>○校内においては各種運動の継続的な取り組みをできるよう、練習カードを作成配付している。健康の維持増進や体力向上を視野に入れた日常的に運動する習慣づくりを推奨するため、放送担当の児童が校内放送を利用して全校児童への呼びかけをしてきた。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○6年生がオリンピックやパラリンピックなど事前に調べ学習を進め、それらを創作劇にして1年から5年児童に向け、校内発表をした。</p> <p>○講演会当日は、体験活動を伴うようにして、楽しさとともにチームで力を合わせることの難しさや大切さを分かりやすく、実感できるような内容を取り入れた。</p> <p>○映像資料だけでなく実際に、一流の選手の山口先生がサーブやスパイクなども披露され、子どもたちはトップ選手の技術の巧みさやスピード正確さなどを近くで感じることができるようにした。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○4年に一度の開催のため、小学生にとってはオリンピック・パラリンピックそのものの知識がほとんどなく、また、一流の選手の技術を直接見るなどの機会もほとんどないため、興味・関心を高めていく学習の機会を作っていく。</p> <p>○小学1年生から小学6年生までの発達や知識・理解等においてそれぞれの学年での体験や学習において児童の実態に即した学習の方法、機会、内容をさらに検討していく。</p> <p>○学習や体験したことを記録や掲示物等にして、日常的に見たり、思い出したりできるようにして、継続して興味・関心を広げることができるよう「オリパラコーナー」等を設置する。</p> <p>○本校においていただいた人々とのつながりができるようにしていく方法を学年に応じて進めたい。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○次年度においてもオリ・パラ教育をきっかけにして、教育目標の具現のため、環境の整備と直接体験等の場を設けそれぞれの児童一人ひとりにとって豊かな体験を積み重ねるようにしていく。</p>